

《第 93 回日光杉並木オーナー証書交付式》 2021/11/08 実施

於) 栃木県庁本館9階特別会議室

制御で
愉快だ
宇都宮
UTSUNOMIYA

2021年12月に創立40周年を迎える記念として、日光杉並木オーナー制度に保護賛同しました。前回の弊社会長夫妻の保護賛同に引き続き、3本目の日光杉並木オーナーとなりました。



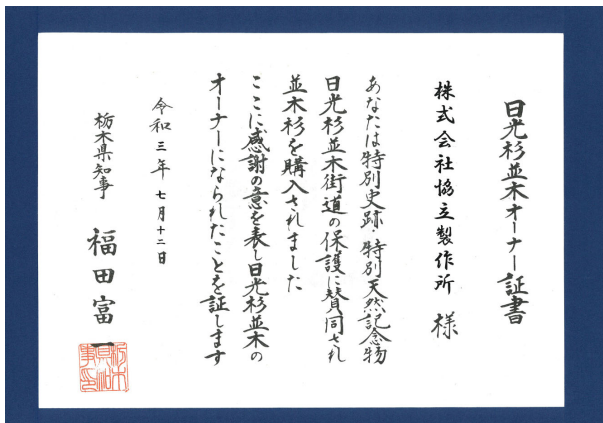
福田富一栃木県知事と記念撮影

「日光杉並木オーナー制度」とは

杉並木保護に賛同し出資した基金の運用益で並木杉の樹勢回復・自然環境保護を目的に平成8年より栃木県が実施している事業です。



知事および日光東照宮権宮司稲葉尚正氏との懇談



日光杉並木オーナー証書



オーナー証書(木製)



日光杉並木

日光杉並木は、日光東照宮が造営された頃に、徳川家の家臣であった松平正綱、正信親子2代により20数年の歳月をかけて植えられたものです。1625年の植栽から390年余りの歴史が刻まれています。

栃木県が世界に誇る貴重な文化遺産で、わが国唯一、国の特別史跡・特別天然記念物の二重指定を受けており、また世界で最も長い並木道としてギネスブックに掲載されています。